

きらめき 創造 大洲市

—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—

# おおず 市議会だより

2007  
No.12

平成19年8月15日発行

●発行 大洲市議会 〒795-8601 愛媛県大洲市大洲690番地の1 ☎0893-24-2111(代) FAX0893-23-1121



楽しい水遊び (河辺町内河辺川)

〈6月〉

6月定例会の日程

29日	26日	25日	22日	21日	14日
質疑・討論・表決、閉会	建設農林委員会	総務文教委員会	委員会付託	本会議(質疑・質問)	本会議(開会・提案説明)
本会議(委員長報告)	企画財政委員会	市民福祉委員会	本会議(質疑・質問)	本会議(質疑・質問)	

2面	6月定例会の概要
3面	提出議案と結果等
4面～7面	質疑・質問
8面～10面	常任委員会、こども議会 議会日誌

# ◆ 6月定例会 ◆

## 主要課題の選択と効果的な取り組みで 魅力あるまちづくりを推進

平成19年第2回定例会は、6月14日から29日までの16日間を会期として開かれました。

市長から提案された平成19年度一般会計補正予算をはじめ、大洲市名誉市民条例の制定、公平委員会委員の選任につき同意を求めることについてなどの議案26件を原案のとおりいずれも可決・承認・同意しました。また審査した請願2件は趣旨採択1件、不採択1件となりました。

### 補正予算の主な事業 ～歳出の主なもの～

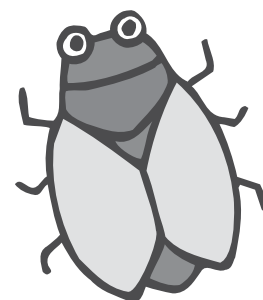
	(単位：千円)
<b>【総務費】</b>	
・ コミュニティ助成事業補助金 .....	5,000
(上須戒・喜多山地区祭り用具整備事業)	
・ 電算システム改修費 .....	60,900
(後期高齢者医療制度対応システム改修委託料)	
<b>【民生費】</b>	
・ 児童手当・特例給付 .....	42,090
(3歳児未満の第1子、第2子へ支給額増額)	
<b>【衛生費】</b>	
・ 粗大ゴミ収集処理事業(処理経費) .....	5,203
<b>【農林水産業費】</b>	
・ 県単林道新設工事 .....	49,645
(林道開設事業2路線、林道開設事業補助金3路線、 林内作業車道開設事業補助金、栄谷6号線他)	
・ 沿岸漁業漁村振興構造改善事業 .....	18,653
(長浜・沖浦、青島地区築いそ工事)	
<b>【商工費】</b>	
・ 第14回全国鵜飼いサミット大洲大会補助金 .....	2,500
<b>【土木費】</b>	
・ 地方特定道路整備事業(市道大洲徳森線道路改良事業).....	100,003
・ 大洲城南隅公園整備事業 .....	23,000
・ 水と緑のネットワーク整備事業(内堀菖蒲園及び .....	29,300
水路整備)	
<b>【消防費】</b>	
・ 消防詰所建設事業 .....	14,175
(新築：長浜分団第1部・坂本分団〈河辺町〉)	
・ 消防施設整備事業 .....	13,967
(防火水槽新設：郷上(豊茂)地区1基、小型動力ポン プ付積載車購入：櫛生分団第3部・坂本分団各1台)	
<b>【教育費】</b>	
・ 図書館建設事業(用地購入費・工事請負費等) .....	483,036

# 平成19年度6月補正予算

## 総額22億8,350万円を可決!!

### 平成19年度一般会計予算総額240億1,193万円

### (対前年度比0.1%増)



# 6月定例会に提出された議案とその結果

## ■議案（市長提出）

議案番号	件名	議決等結果
第44号	平成19年度大洲市一般会計補正予算(第1号)	原案可決
第45号	平成19年度大洲市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第46号	平成19年度大洲市国民健康保険診療所特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第47号	平成19年度大洲市介護保険特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第48号	平成19年度大洲市介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第49号	平成19年度大洲市簡易水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第50号	平成19年度大洲市港湾施設事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第51号	平成19年度大洲市土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第52号	平成19年度大洲市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第53号	平成19年度大洲市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
第54号	平成19年度大洲市水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第55号	平成19年度大洲市工業用水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第56号	平成19年度大洲市病院事業会計補正予算(第1号)	原案可決
第57号	大洲市名誉市民条例の制定について	原案可決
第58号	大洲市報酬及び費用弁償等支給条例の一部改正について	原案可決
第59号	大洲市職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決
第60号	大洲市職員の旅費に関する条例の一部改正について	原案可決
第61号	大洲市職員退職手当条例の一部改正について	原案可決

議案番号	件名	議決等結果
第62号	大洲市国民健康保険税条例の一部改正について	原案可決
第63号	大洲市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正について	原案可決
第64号	財産の貸付について	原案可決
第65号	辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について	原案可決
第66号	大洲市営土地改良事業の施行について	原案可決
第67号	専決処分した事件の報告並びに承認を求めることについて	承認
	専決第1号 大洲市税条例の一部改正について	
	専決第2号 大洲市国民健康保険税条例の一部改正について	
	専決第3号 平成19年度大洲市老人保健特別会計補正予算(第1号)	
	専決第4号 平成19年度大洲市住宅新築資金等貸付事業特別会計補正(第1号)	
第68号	公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて	同意
第69号	人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて	同意

## ■請願の審査結果

請願番号	件名	議決等結果
請願25	安全・安心の医療と看護の実現を求める請願書	趣旨採択
請願26	新図書館建設についての請願	不採択

### 【人事案件】（敬称略）

- 公平委員会委員の選任につき同意を求めることについて  
 笹山 允（柚木）  
 任期 H19.7.1 ~ H21.3.31

- 人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて  
 佐川 文彦（新谷町）  
 上田 弘（若宮）  
 任期(予定) いずれもH19.10.1~H22.9.30

### 議会活性化の取り組み

議会運営委員会が中心となり、議会の活性化及び機能の充実・強化、また議会と市民の皆さんとがより一層身近なものとなることを基本に、議会運営などについて様々な見直しと検討を行っています。

### ■議会日程の早期お知らせ

次回の議会日程をより早くお知らせするため、議会開会の約1カ月前に市ホームページ「議会情報」欄に、議会の主な日程（予定）について掲載することになりました。

### ■会議録の公開

本会議会議録を市ホームページに掲載し、閲覧できるようにになりました。

### ■本会議の傍聴

本会議は誰でも自由に傍聴できます。傍聴席は本庁5階に約40席あります。

### ■常任委員会の傍聴

4つの常任委員会（総務文教、企画財政、市民福祉、建設農林）について、それ

ぞれ5名まで議員の紹介により傍聴ができます。

### ■議会中継

各支所では、本会議の生中継を見ることが出来ます。なお、市内のCATV局では録画放送を行っています。

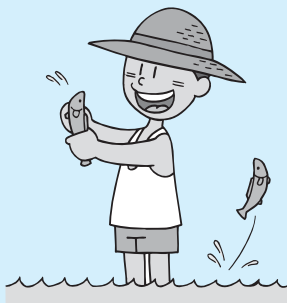
※会議日程等は市ホームページに掲載していますが、詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

なお、現在、一般質問と答弁の内容を分かりやすくするための一問一答方式の導入や、質問予定議員やその内容及び発言順等の事前公表の他、「議会だより」及び市ホームページの掲載内容の充実等、様々な事項について検討を進めています。市民の皆様からのご意見をお待ちしております。また、平成17年10月から議員報酬を3%カット、昨年の6月定例会にて議員定数を現30人から次期25人とする定数条例を制定しました。なお、政務調査費については大洲市議会では交付していません。

# 質 疑 ・ 質 問

厳しい財政状況の中、市政の取り組みを問う

## ■ 主な質問項目 ■

<p><b>1 福積章男議員</b></p> <p>① 廃棄物処理 ② 農業政策 ③ 図書館建設 ④ 自治会制度</p>	<p><b>5 中野寛之議員</b></p> <p>① 財政問題 ② 不祥事対策 ③ 国民年金 ④ 交通体系整備 ⑤ 新図書館建設問題</p>	<p><b>9 中野茂明議員</b></p> <p>① 第44号議案 ・ダム対策費 ・大洲城南隅公園整備 ・図書館建設事業</p>
<p><b>2 大野立志議員</b></p> <p>① 介護保険制度 ② 農業政策 ③ 林業政策</p>	<p><b>6 梅木良照議員</b></p> <p>① 国民健康保険診療所 ② 非常備消防 ③ 洋式トイレの整備</p>	<p><b>10 大野新策議員</b></p> <p>① 財政問題 ② 医療環境整備 ③ 山鳥坂ダムと環境整備 ④ いじめ・不登校問題</p>
<p><b>3 柘田和美議員</b></p> <p>① 福祉行政 ② 特別支援教育</p>	<p><b>7 西村 豊議員</b></p> <p>① 高齢者保健福祉計画 ② 団塊世代の退職者 ③ 農業関係 ④ 肱川の整備計画と現状 ⑤ 少年自然の家</p>	
<p><b>4 武田雅司議員</b></p> <p>① 財政健全化法案 ② 介護予防 ③ 全国学力テスト ④ プロジェクトチーム ⑤ 大洲病院 ⑥ 図書館建設</p>	<p><b>8 二宮 淳議員</b></p> <p>① 後期高齢者医療制度 ② 長浜町第三次開発事業計画 ③ 末永家旧住宅</p>	

### 交通体系の整備について

**問**

既存路線バスが撤退する中、スクールバスの利活用について伺いたい。

**答**

本年10月1日から柳沢地区と豊茂地区の民間バス路線の廃止が予定されていることから、その代替として、既存の民営の買収バス利用のほか、現在路線を走っているスクールバスを、無償で一般住民が利用できるように関係機関と協議を進めています。なお、全てのスクールバスの利活用は多くの課題があるため、今後総合的に勘案しながら検討していきたいと考えています。

### プロジェクトチームについて

**問**

新産業興市プロジェクトチーム及び土地興市プロジェクトチームの取り組みについて伺いたい。

**答**

新産業興市プロジェクトチームは、当市の基幹産業である第一次産業と観光、スポーツ等と組み合わせさせた新産業の創設、土地興市プロジェクトチームは、当市における土地の有

効利用等を調査研究・促進し、その利活用を図っていかうとするものです。それぞれ5人編制による市長直属のチームとして、市長の特命事項を担当することになっています。

### 非常備消防の維持・確保について

**問**

機能別消防団員等への取り組みについて伺いたい。

**答**

平成17年1月の総務省の通知により機能別消防団員制度が創設されました。この団員は、能力や事情に応じて火災の消火活動等特定の活動に限定して参加する消防団員のことです。郵便消防団や大学生による防災サポーター、消防団を引退された方で組織するOB分団などの事例が報告されています。

本市では制度は設けていませんが、既に市内全域に結成されている自主防災組織には多くの消防団OBの方々にも参加いただき、組織のリーダー的存在として活動いただいています。

なお、この機能別消防団

員・機能別分団は、団員確保の観点から有効な手段であると考えており、実現可能かどうか今後検討していきたいと考えています。

### 図書館建設について

**問** 新図書館の概要と、諸問題への対応について伺いたい。

**答** 新図書館の建設地を東若宮地区としたことについては、大洲市総合計画、大洲市都市計画マスタープランにおける新市まちづくりの目標や基本施策に沿ったもので、新市の中心的エリアであることや交通アクセスの利便性が高いこと、敷地面積に余裕があること等、図書館建設検討委員会で総合的に審議をいただいた結果、同地区が最適な場所であると判断し最終決定をしました。

建設の総事業費は13億円に圧縮し、財源は合併特別債の発行を予定しています。建設後の運営費について変動はあるものの、現在のところ年間約5,500万円程度と見込んでいます。

内部には木材をふんだん

に配した鉄筋コンクリート2階建、延べ床面積2,223㎡、今年10月着工予定で、来年10月の完成を目指しています。

水害対策については、平成16年の水害では建設予定地の南側道路が16センチ冠水したため、現地盤から1階の床までの高さを45センチとしています。今後も引き続き川の治水対策に取り組みされることから、治水安全度は更に高まるものと予測しています。

また地盤の問題については、同地区

は特に軟弱ではないため、コンクリート杭の打ち込みによる支持を考えています。交通安全対策については、建設地は国道56号から一路線内部にあり、また東大洲地区拠点地区内を「安心歩行エリア」として総合的な交通安全対策を継続的に進めているため、交通量に対する懸念は少ないものと考えています。

用地単価の差額について、今回土地開発公社から購入する土地の坪単価は約27万円、当初の分譲開始時の坪単価は26万円から28万3,000円となっていました。その後冠水被害や区画の細分化等による土地評価の見直しにより、坪単価を19万8,000円から26万1,000円とする下方修正を行いました。このことから当初は単価の差額は生じない計画でしたが、現時点では差額が生じることになっていきます。

建設に対する反対の署名簿の提出については真摯に受けとめています。図書館は地域文化を幅広く、生涯学習活動の中核を担う大切な施設として、今後図

書館建設に関する情報等を市民の皆さんへ積極的に提供しながら最優先事業として取り組んでいきたいと考えています。

### 特別支援教育について

**問** 支援員の配置と取り組み状況について伺いたい。

**答** この事業は、これまでの障害に加え、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥多動性障害）、高機能自閉症を含めて障害のある児童生徒に対し、適切な指導及び必要な支援を行うものです。

各学校では教員を特別支援教育コーディネーターに指名し、校内委員会、校内研修の企画運営、関係諸機関との連絡調整、保護者からの相談窓口などにあたっています。また県教育委員会の研修や市教育研究所での活動を通して、相談・調整能力の向上や各学校間での連絡体制の強化を図ると共に、医療・保健・福祉・教育等の関係者で組織する「大洲市修学指導委員会」とも連携を密にし、個別の

支援方針を明確にすることにしていきます。

なお平成19年度は32人の児童生徒が特別支援学級に在籍していますが、特別支援学級や特に配慮を要する児童生徒には支援員を配置し、各学校において適切な教育が行われるよう支援しています。



## 長浜町第三次開発について

**問** 今後の見直しについて伺いたい。

**答** この計画は旧長浜町で策定をされていた計画ですが、合併時に新大洲市に引き継ぎ、大洲市総合計画基本計画でも主要施策の一つとして取り上げており、長浜地域の活性化及び地域の中核拠点整備として位置づけられている極めて重要な事業であるため、地域の諸事情を勘案しつつ、特別決議された旧長浜町議会の意思を十分に尊重し、財政状況を見きわめながら最も適切な事業計画の見直しを行った上で推進していくべき事業であると考えています。

ただし、この事業計画推進に当たっては、愛媛県で施行していただいている小型船だまりの完成が前提ですので、県に対し港内の静穏度の確保を強く要望するとともに、地元漁協関係者の協力もいただき、引き続き早期完成を働きかけ、漁業の振興を図っていきたくと考えています。

早期完成が待たれる小型船だまり



## 財政問題について

**問** 集中改革プランの成果について伺いたい。

**答** 集中改革プランの進捗は、132項目の取り組みについて、平成18年度末現在、目標達成及び一部実施中が80項目、全体の約61%で、金額では平成17年度及び平成18年度の当初目標額約5億6,900万円に対し、現時点での見込みでは、約6億5,100万円の効果を得ており、順調に取り組みが進んでいるものと考えています。

**問** 公共事業の見直しについて伺いたい。

**答** 普通建設事業費の推移では、平成12年度から平成16年度の5年間の平均決算額が約76億円となっていました。集中改革プラン策定後の平成17年度と平成18年度の平均は、約39億円と大幅な縮減となっています。

## 介護保険制度について

**問** 地域包括支援センター・サブセンターを充実させるための取り組みについて伺いたい。

**答** 同センターは平成19年4月に市の直営方式で創設しましたが、主な業務として、①予防給付・介護予防事業 ケアマネジメント業務 ②総合相談支援業務 ③権利擁護業務 ④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務の4つがあります。

平成19年5月現在の要支援認定者数は204人で、同センターが支援する他、指定居宅介護事業者にも委託し協力いただいています。特定高齢者に対する支援は、現在地区ごとに基本健康診

査が実施されている最中で、早期発見・早期対応できるような地域の民生児童委員や関係機関との連携を強化していきたいと考えています。

包括的・継続的ケアマネジメント支援については、居宅介護支援事業者連絡会、サービスマネジメント担当者会を定期的に開催し、ケアマネジャーの支援、関係機関との連携・協力体制の構築に引き続き努めていきます。

なお、在宅介護支援センターへは主に地域の高齢者の実態把握等をお願いしており、また定期的な話し合いの場を設けるなど情報交換に努めています。

## 障害者への対策について

**問** 障害者自立支援法における市の取り組みについて伺いたい。

**答** 同法では「就労移行支援法」「地域活動支援センター事業」「地域活動支援センター事業」等によりサービスの提供が示されており、当市では平成19年5月末現在40名が利用されています。今後は施設入所者就職支度金給付事業等も組み合わせ、

大洲学園で栽培されている鉢植え植物



より実態に即した就労支援を行いたいと考えています。また作業所については、平成19年5月末現在、市内2事業所で22名が利用されており、共に小規模作業所として地域に密着した利便性の高いサービスを提供し、障害を持つ方々の日々の生活の場として地域生活を営むうえで重要な役割を果たしています。

現在、障害者自立支援法に規定する新事業体への移行を図るための調査及び将来的な事業運営のための企画検討が進められており、円滑に新事業体へ移行できるように情報の提供や助言、

補助金の交付等について引き続き支援をしていくことにしています。

### 医療環境の整備について

**問** 医師確保の取り組みと今後の対応について伺いたい。

**答** 大洲病院では、産婦人科の後任医師の確保、小児科の常勤医師の確保について大学に派遣の依頼を続けてきましたが、現在見通しがなく、休止せざるを得ない状況となっています。

取り組みとしては、平成16年10月に管理型臨床研修病院の指定を受け、昨年5月から臨床研修医1名を受け入れている。また、今年度から愛大医学部6年生を臨床選択実習生として受け入れており、将来の医師確保につながるものと期待しています。

今後引き続き大学と緊密な連携を図るとともに、臨床研修医の受け入れ体制を強化するなど、医師確保に努めたいと考えています。

### 農業政策について

**問** 品目横断的経営安定対策について伺いたい。

**答** 同対策は平成19年度から、米・麦・大豆を対象に新たな助成制度として実施されていますが、対象となる担い手農家の基本要件は、経営面積、農家所得、集落営農組織での営農が主な要件となっています。要件に満たない小規模の農家は、愛媛たいき農協で組織している農事法人「グリーンたいき」の構成員となることで交付を受けることができます。

現在の大洲市の状況は、



助成事業により栽培される大豆

個人で交付を受けられている農家が1戸、「グリーンたいき」の構成員として参画されている農家は19戸となつています。

また「担い手アクションサポート事業」は担い手の育成を目的として今年度より導入し、多岐にわたる担い手支援制度の総合的な窓口を設置することとしています。

### ダム建設について

**問** 今回提案のダム対策予算の内容について伺いたい。

**答** ダムの建設については、土地・家屋等の水没だけでなく、地域の生活基盤や地域社会そのものが、広範囲にわたり大きな影響を受けることから、地域住民の意見を反映しながら総合的な地域振興計画を策定し推進することにより、ダム建設による影響を緩和する必要があります。

このことをふまえ、今後は検討してきた地域振興計画の素案に基づく各種事業について、愛媛県が平成20年度に策定を予定されている

水源地域整備計画に位置づけたいと考えています。

平成19年度内には、水源地域再建計画の素案を確定する必要があり、その必要経費として、道路改良11路線のほか、工用プラント跡地の利用計画、共同墓地等についての検討を行うことにしています。

### 肱川の河川整備について

**問** 堤防整備の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

**答** 現在の進捗状況は、長浜地域では現在大和（郷）地区及び長浜中学校付近からの工事が進んでおり、平成19年度は長浜大橋付近の設計協議を完了させ、用地調査及び用地買収を実施し、順次工事に着手する予定です。また、大和（郷）地区の事業は今年度で完了し、引き続き上老松地区の事業に着手したいと聞いています。

次に、無堤地区である多田地区、阿蔵・久米地区、菅田地区の工事並びに柚木・如法寺地区では実施設計に着手されており、阿蔵・久

米地区は今年度末の完成を予定されています。

また、菅田地区は整備区間が長いことから、計画中期で計画プランの上流から逆なげ橋上流までの整備を予定していると聞いています。既に逆なげ橋上流までの築堤の詳細設計を終え、順次用地買収を進めるとともに、一部昨年度から工事に着手されています。

今後については、今年度久米川河川災害復旧助成事業が完成予定であることから、愛媛県に対し菅田地区の早期完成に向けた予算の確保等を強く要望していきたいと考えています。



急ピッチで進む久米川改修工事

# 委員会審査

6月定例会で委員会に付託された議案等について審査を行いました。

## 総務文教委員会

委員長 矢間 一義

### ■図書館建設について

**問** 検討委員会の答申までの経緯と分館との連携について

**答** 第1回目の委員会で4つの候補地の中から、敷地の面積や交通アクセスの利便性などを総合的に判断した結果、東若宮が最有力候補地として決定され、その後先進地視察を行うなどの検討を重ね、第4回目の検討委員会終了後、市長に対し、中間報告として「大洲市立図書館の位置に関する報告書」が提出された。

新図書館の入館者数の予測については、現図書館の入館者は年間約2万7千人であるが、先進地の建替後の実績を参考にし、年間6万人程度の入館者を見込んでいる。また、分館との連携は、コンピュータを利用



新図書館完成予想図

して、分館からも本館の図書を出すことができるシステムの導入を検討している。

**■**地域環境整備事業による防火水槽新設事業及び小型動力ポンプ付き積載車購入について

**問** 事業採択の見通しと積載車の種類について

**答** 現在採択の見通しは不透明である。県の補助事業は今年度が最後であることから、不採択の場合は、次年度以降市単独事業として実施せざるを得ないと考えている。

今回購入予定の「ポンプ付積載車」は、積み下ろし式の可般ポンプが付いた積載車のことで、車が進入できない場所でもポンプを運んで行き放水することが可能である。一方「ポンプ車」についてはポンプを下ろす必要がなく、ポンプの能力も可般ポンプに比べて優れており、価格も高額となる。

## 企画財政委員会

委員長 村上 常雄

**■**統合電算システムプロگرام改良業務委託について

**説明** 平成20年度から新しく後期高齢者医療制度が実施されるため、新制度に対

応する新しい電算システムの構築と、関連する住民記録システムや住民税システムなど広範囲にわたり既存の電算システムを改修する経費として6,090万円計上しているものである。

**問** 高額な費用に対する国の負担について

**答** 今回の新システム構築及び既存システム改修における国庫補助金は785万5,000円で、自治体の負担をもっと少なくするよう要望が出されているが、ごく僅かな支援しか受けられないのが実情である。

そのような中、市としても保守・改修費用の軽減を図るため、今年度からシステムの保守・改修業務を地元専門業者に一括して委託し、できる限りの努力をしている。

**■**うかいの活性化について

**問** 今年50周年を記念して開催される「第14回全国鵜飼サミット大洲大会」の主な内容と、今後のうかいの取り組みについて

**答** 鵜飼いサミットは、9月4日・5日の2日間開催し、現在の課題や将来の鵜飼いのあり方について話し

日本三大鵜飼いの一つとして期待される大洲のうかい



合うとともに、フォトコンテストの開催やPRポスター等の作成、記念誌の発行などを計画しており、サミットの参加者は約150人程度を予定している。

うかい観光客の減少に対する今後の対策としては、「夫婦でうかい」や「家族でうかい」など新たな客層の掘り起こしに取り組み、平成4年まで維持していた2万人台に回復するよう全国に大洲のうかいの特色などを広くPRしていきたい。

また、リピーターを確保するには船頭さんのガイド力の向上が重要であるため、



その取り組みや大洲特有の料理メニューを取り入れるなど、うかい登録店と協力しながら観光振興と地域活性化を図っていきたいと考えている。

## 市民福祉委員会

委員長 向井 敏憲

### ■大洲市国民健康保険税条例の一部改正について

**説明** 今回の改正は、昨年引き続き、医療分の保険税は据え置き、介護分の税率を改正し、国保財政の安定確保と被保険者の負担の公平を図ろうとするものである。

**問** 2年続けての被保険者の負担増における今後の国保財政の見通しについて

**答** 被保険者の負担が一度に過重とならないよう国保運営協議会に諮問を行った上で、提案であるが、また財源不足のため医療分も課税所得の減額などにより厳しい状況が続いており、今回は昨年度の繰越金を充てる事により医療分保険税は据え置きとし、介護分のみを引き上げをお願いするも

のである。

### ■粗大ゴミの回収について

**問** 大洲市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の改正及び処理業務の内容について

**答** 現行条例では、長浜地域は1個につき千円、肱川・河辺地域は品目により異なる手数料を設定していたが、今回の改正で全市を統一し、粗大ゴミの処理手数料は粗大ゴミシール(千円)の販売をもって徴収することとした。

処分業務の概要は、毎月1回の戸別収集方式とし、収集品目は、タンスやソフ



シールを貼り回収されている粗大ゴミ(長浜地区)

アー、机、椅子、自転車、布団などを予定している。基本的にはそのままの形で出し、委託業者で再処理できるよう分別を行うこととするが、家電4品目や産業廃棄物系のもの、農機具やタイヤなどは収集する予定はない。

詳細を検討し、10月からの実施に向け、広報等を通じて市民に周知を図っていきたくと考えている。

## 建設農林委員会

委員長 宮本 増憲

### ■ペットボトル用緑茶生産の実証検証について

**問** 事業の内容と将来の展望について

**答** この事業は清涼飲料メーカーからの依頼を受け、ペットボトル用の緑茶の原料となるお茶の産地としての可能性を検証するため、実証事業として愛媛県の補助を受け愛媛たいき農協を事業実施主体として取り組み、もうとしているものであり、県試験場及びメーカーの指導、先進的な生産地を参考に約5年をかけて指針を作

成することとしている。

お茶は長期土地利用型作物として分類され、約50年間収穫できるといわれている。将来的には担い手等の懸念もあるが、長期的な展望にたった農家の育成を図るため、お茶栽培の実証を行いつつながら農業生産法人を設立し、農家との契約により一括での栽培を考えている。

### ■大洲城南隅公園整備事業について

**説明** この事業は旧大洲藩主、加藤家の末裔である加藤泰通氏が、大正年間に建築し現在に至っている加藤家住宅跡地を、大洲城に関連した史跡公園として位置付け、市民の憩いの場、観光客の回遊ルートの強化を図ることを目的に整備するもので、今回の補正では年度内の完成を目指して、建物の保全・公園整備工事に関する予算を計上したものである。

**問** 計画の概要について

**答** この建物は、加藤家の末裔が住宅として使用した格式あるもので、家長・嫡男・来客専用の玄関と、その他家族専用の玄関とが別々

に設けられていることなど、藩主末裔の住宅ならではの特徴が色濃く残っていることから、この建物を修復し、歴史的価値も含めた観光施設として保存したいと考えている。

整備の概要は、既存の樹木を最大限利用し、建物にマッチした庭園整備を計画しており、建物は、外観の維持保全・改修を中心に整備するが、観光客用の多目的トイレの設置、1階ひさしや座敷のふすま、畳などの改修も計画している。



加藤家旧居宅跡

## こども議会開催

7月12日、大洲市、市議会、市教育委員会の主催により、市内9中学校から30名の中学生議員が出席し、大洲市こども議会が開催されました。

この事業は、市内の中学生に議会制度及び行政システムの基本的事項を体験学習し、また地方自治への関心を高めてもらうことを目的に開催されたものです。



当日は正式な議会さながらに、9名のこども議員から、自然環境保全や住みよい生活基盤の整備、産業や観光、文化の振興等様々な質問や提案が出され、市長ほか関係理事者が答弁を行いました。

また美しいふるさと大洲市づくりについて、ともに協力し主体的に取り組んでいくことについての「こども議会宣言」が全会一致で採択されました。



## 大洲球場改修工事竣工

7月16日、大洲球場改修工事竣工記念式典の後愛媛マンダリンパイレーツ対香川オリーブガイナーズとの公式戦が行われ、多くのファンを楽しませました。

## 議長会表彰状

先に開催された全国及び四国議長会において、次の方々に表彰状が贈られました。

### ◆全国市議会議長会表彰状

〔特別表彰〕  
議員在職40年以上  
小泉 紘文  
〔一般表彰〕  
正副議長在職4年以上  
清水久二博

### ◆四国市議会議長会表彰状

〔特別表彰〕  
議員在職40年以上  
小泉 紘文  
議員在職36年以上  
大野 新策  
議員在職16年以上  
清水久二博  
吉岡 猛  
議員在職12年以上  
向井 敏憲  
有友 正本  
〔一般表彰〕  
議員在職8年以上  
後藤 武薫  
正副議長在職3年以上  
清水久二博

## 議会日誌

3月

27日・一部事務組合議定会  
例会（2議会）（内子）  
29日・一部事務組合議定会  
例会（5議会）

5月

10日・山形県大江町議定会  
政視察来市  
14日・議会運営委員会  
16日・肱川流域治水対策特別委員会  
22日・愛媛県市議会議長会  
春期定期総会（宇和島市）  
23日・四国西南サミット  
（宇和島市）

6月

29日・愛媛県四国縦貫・横断自動車道建設促進協議会理事会・総会（伊予市）  
31日・四国市議会議長会定期総会（松山市）  
7日・議会運営委員会  
11日・国道197号（大洲・須崎間）愛媛県側整備促進期成同盟会定期総会  
"・国道441号（大洲・鬼北間）愛媛県側整備促進期成同盟会総会  
14～29日・第2回定例会

## 訂正とお詫び

市議会だより5月15日発行No.11の表紙写真の説明で「戒川」との記載は「戒川の誤りでした。訂正しお詫びいたします。

## 編集後記

残暑お見舞い申し上げます。

先般発生した新潟県中越沖地震では大きな被害をもたらし、また原発の危機管理体制の不備が問題となりました。被災された方々には一日も早く元の生活に戻ることができるよう強く願っております。

まもなく9月定例会が開催されます。今後も市民の皆さんのご意見などをいただきながら議会の責務を果たしてまいりますので、よろしくお願いたします。

